

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県三木市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	三木市文化遺産を活用した地域活性化プラン	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
三木市観光基本計画（平成14年3月策定）及び兵庫県教育委員会が作成した歴史文化遺産活用ガイドライン（平成19年3月作成）に基づき、価値の発見→価値の共有→活用の計画→活用の実践へと進めていくため、以下の取組を実施する。また、計画期間中、以下の取組を通じて行政と民間団体、文化財保護団体による連携・協力体制の確立を目指す。 1 歴史文化ウォッチングの開催 2 歴史文化遺産を活用したワークショップの開催 3 歴史文化遺産を活用した講演会の開催 4 祭りの屋台・獅子舞等地域の文化遺産継承のために用いる用具の新調・修理事業			
6 実施体制			
三木市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。 教育委員会文化・スポーツ課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等 観光振興課：歴史文化遺産を活用した観光業務に関する企画・調整等 また、補助事業は次の団体が実施する。 三木市文化遺産活性化実行委員会 構成団体（三木市、三木市観光協会、全明石町屋台奉賛会、下町屋台保存会、高木子供屋台奉賛会、平田町屋台保存会、大手町屋台保存会、久留美屋台奉賛会、宿原屋台保存会、御坂神社太鼓保存会、東這田奉賛会、興治獅子舞保存会）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 69,082 千円	平成30年度申請額： 6,708 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
市民の伝統文化に対する関心や意識が向上し、歴史文化を再認識することで、歴史文化の薫る町として発展的に活動して行く基礎づくりができ、次世代への確実な継承とともに、地域が一体となって文化財保護や地域の活性化が期待できる。 また、行政と文化財保護団体、観光協会、大学等が連携し、様々な事業推進、情報発信を行うことで、観光客の増加に寄与することができる。 特に、文化遺産関連施設の観光入込客数については、平成28年度当初見込み34,000人から平成33年度には44,000人への上昇を目指す。 各地区の屋台保存会会員数については、全体で平成33年度には平成28年度比で10%の増加を目指す。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	なし		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
なし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	三木市教育委員会教育総務部文化・スポーツ課文化遺産係（みき歴史資料館）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1 :	金物資料館、旧玉置家住宅、旧小河家別邸等の観光入込客数			関連事業:	①歴史文化ウォッチング事業	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 35,453 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 44,000 人					
設定根拠 1 :	平成27年度の観光入込客数（19,366人）の23年度比の伸び率約1.24倍を参考にしつつ、伸び率1.3倍を設定した。28年度に開館したみき歴史資料館の入込客数（28年度15,372人）を加えた。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
34,210 人	人	人	人	人	人	
-15%						
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 2 :	全明石町屋台奉曳会保存会の会員数			関連事業:	②全明石町屋台奉曳会用具整備事業	
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 74 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 84 人					
設定根拠 2 :	全明石町屋台奉曳会を構成する明石町、宮前町、清水町、大日町、杣宮町の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
78 人	人	人	人	人	人	
40%						
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 3 :	全末廣屋台奉賛会の会員数			関連事業:	③全末廣屋台奉賛会後継者養成事業、④全末廣屋台用具整備事業	
目標値 3 :	【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 140 人					
設定根拠 3 :	全末廣屋台奉賛会を構成する末広町、神明町、大開町、新宿町の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 4 :	下町屋台保存会の会員数			関連事業:	⑤下町屋台保存会後継者養成事業、⑥下町屋台用具整備事業	
目標値 4 :	【現状値】 平成 28 年度 289 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 300 人					
設定根拠 4 :	下町屋台保存会を構成する前田町、下町、丸一町の人口社会減の現状から、基本的に現状維持を設定					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
296 人	人	人	人	人	人	
64%						

目標区分 5：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 5：	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 5：	高木子供屋台奉賛会の会員数			関連事業：	⑦高木子供屋台用具整備事業	
目標値 5：	【現状値】 平成 28 年度 59 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 80 人					
設定根拠 5：	高木子供屋台奉賛会を構成する高木地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す					
進捗状況 5：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
66 人	人	人	人	人	人	
33%						
目標区分 6：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 6：	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 6：	平田町屋台保存会の会員数			関連事業：	⑧平田町屋台用具整備事業	
目標値 6：	【現状値】 平成 28 年度 242 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 260 人					
設定根拠 6：	平田町屋台保存会を構成する平田地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す					
進捗状況 6：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
270 人	人	人	人	人	人	
156%						
目標区分 7：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 7：	祭礼行事への参加住民数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 7：	大手町屋台保存会の祭礼行事への参加住民数			関連事業：	⑨大手町屋台用具整備事業	
目標値 7：	【現状値】 平成 28 年度 50 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 100 人					
設定根拠 7：	大手町屋台保存会を構成する大手町の住民意識を高めて参加者数の上昇を目指す					
進捗状況 7：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
95 人	人	人	人	人	人	
90%						
目標区分 8：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 8：	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 8：	久留美屋台奉賛会の会員数			関連事業：	⑩久留美屋台用具整備事業	
目標値 8：	【現状値】 平成 28 年度 120 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 120 人					
設定根拠 8：	久留美屋台奉賛会を構成する久留美地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 8：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
120 人	人	人	人	人	人	
100%						

目標区分 9 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 9 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 9 :	宿原屋台保存会の会員数			関連事業:	⑪宿原屋台用具整備事業	
目標値 9 :	【現状値】 平成 28 年度 50 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 70 人					
設定根拠 9 :	宿原屋台保存会を構成する宿原地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す					
進捗状況 9 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
50 人	人	人	人	人	人	
0%						
目標区分10 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分10 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標10 :	御坂神社太鼓保存会の会員数			関連事業:	⑫御坂神社太鼓保存会屋台用具整備事業	
目標値10 :	【現状値】 平成 28 年度 36 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 36 人					
設定根拠10 :	御坂神社太鼓保存会を構成する御坂神社氏子地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況10 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
36 人	人	人	人	人	人	
100%						
目標区分11 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分11 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標11 :	東這田奉賛会の会員数			関連事業:	⑬東這田屋台用具整備事業	
目標値11 :	【現状値】 平成 28 年度 80 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 80 人					
設定根拠11 :	東這田奉賛会を構成する東這田地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況11 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
80 人	人	人	人	人	人	
100%						
目標区分12 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分12 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標12 :	興治獅子舞保存会の会員数			関連事業:	⑭興治屋台・獅子舞用具整備事業	
目標値12 :	【現状値】 平成 29 年度 246 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 246 人					
設定根拠12 :	興治獅子舞保存会を構成する興治地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況12 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

目標区分13：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分13：	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標13：	明石町青年団の会員数			関連事業：	⑮明石町青年団屋台用具整備事業	
目標値13：	【現状値】平成 28 年度 31 人 ⇒ 【目標値】平成 33 年度 35 人					
設定根拠13：	明石町青年団を構成する明石町、宮前町、清水町、大日町、杣宮町の高校生から29歳までの会員対象者の意識を高めて会員数の上昇を目指す					
進捗状況13：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
32 人	人	人	人	人	人	
25%						
目標区分14：	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分14：	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標14：	石野町祭り保存会の会員数			関連事業：	⑯石野祭り保存会屋台用具整備事業	
目標値14：	【現状値】平成 28 年度 103 人 ⇒ 【目標値】平成 33 年度 125 人					
設定根拠14：	石野町祭り保存会を構成する石野地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す					
進捗状況14：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
103 人	人	人	人	人	人	
0%						

8（2）実施事業の概要 別紙

事業①：		歴史文化ウォッチング事業				実施団体：		（一社）三木市観光協会			
事業区分：		普及啓発				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		H29～ まち歩き（フィールドワーク）により、市内に存する地域固有の歴史文化遺産を再発見し、参加者の視点で残していきたいと考える資源を各自数点程度に記録し、当該資料をもとにワークショップ繋げることにより、文化財に対する認識度が高まり次世代へ文化財を継承していく意識の醸成が期待できる。 企画・指導・実施については神戸芸術工科大学と連携することとし、まち歩き後はアンケートを実施し市民の歴史文化に対する関心度調査を併せて実施する。									
評価指標区分：		・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）					（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標：		三木市観光協会の会員団体数の増加を目指す									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 136 団体 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 142 団体									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
136 団体	団体	団体	団体	団体	団体						
0%											
事業②：		全明石町屋台用具整備事業				実施団体：		全明石町屋台奉昇会			
事業区分：		用具等整備				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		H29 全明石町屋台の屋台係の法被について、昭和46年以前から補修や買い足しを適時行ってきたが、屋台係増加による数量不足とともに、長年の経年劣化により、ほつれ等の傷みが激しいため新調した。新調後、10月7・8日の例大祭において一般公開を行った。 H30 屋台の四本柱と屋根のつなぎ目が経年劣化を原因として破損したため、修理を行う。修理後、10月6・7日の例大祭においてお披露目する。									
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数					（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標：		全明石町屋台奉昇会を構成する明石町、宮前町、清水町、大日町、杣宮町の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 74 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 84 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
78 人	人	人	人	人	人						
40%											
事業③：		全末廣屋台奉賛会後継者養成事業				実施団体：		全末廣屋台奉賛会			
事業区分：		後継者養成				事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		H30 全末廣屋台奉賛会の会員を対象に、公民館を会場とした実技訓練等を開催する。									
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数					（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標：		全末廣屋台奉賛会を構成する末広町、神明町、大開町、新宿町の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す									
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 140 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						

事業④：		全末廣屋台用具整備事業			実施団体：		全末廣屋台奉賛会				
事業区分：		用具等整備			事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：		H30 屋台の泥台や担ぎ棒が長年の使用による経年劣化により損傷が生じ、屋台の運行に危険が生じるため、修理を実施する。修理後、9月16日に修理完成お披露目会を実施する。									
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：		全末廣屋台奉賛会を構成する末広町、神明町、大開町、新宿町の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す									
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 140 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
人		人		人		人		人		人	
事業⑤：		下町屋台保存会後継者養成事業				実施団体：		下町屋台保存会			
事業区分：		後継者養成				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		H29～ 下町屋台保存会の会員を対象に、公民館を会場とした実技訓練等を開催する。									
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）						(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		下町屋台保存会を構成する前田町、下町、丸一町の人口社会減の現状から、基本的に現状維持を設定									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 289 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 300 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
296 人		人		人		人		人		人	
64%											
事業⑥：		下町屋台用具整備事業				実施団体：		下町屋台保存会			
事業区分：		用具等整備				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		H29 屋台の各部位に傷や破損が生じ、屋台の運行に危険が生じたため、修理を実施した。修理後、10月7・8日の例大祭において一般公開を行った。 H30 屋台の布団屋根、欄間、虹梁、担ぎ棒各部位に損傷が生じたため、修理を実施する。修理後、10月6・7日の例大祭においてお披露目する。									
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）						(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		下町屋台保存会を構成する前田町、下町、丸一町の人口社会減の現状から、基本的に現状維持を設定									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 289 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 300 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
296 人		人		人		人		人		人	
64%											

事業⑦：		高木子供屋台用具整備事業				実施団体：		高木子供屋台奉賛会			
事業区分：		用具等整備				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		H29 大宮八幡宮例大祭及び高木大歳神社栢祭りで奉納する子供屋台の担ぎ棒に傷や破損が生じ、屋台の運行に危険が生じたため、取替を行った。修理後、10月7・8日の例大祭において一般公開を行った。 H30 布団締めが長年の使用による経年劣化により、損傷や刺繍のほどけが激しいため、修理を行う。修理後、10月6・7日の例大祭においてお披露目する。									
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数						(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		高木子供屋台奉賛会を構成する高木地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 59 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 80 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
66 人		人		人		人		人		人	
33%											
事業⑧：		平田町屋台用具整備事業				実施団体：		平田町屋台保存会			
事業区分：		用具等整備				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		H29 長年の経年劣化により、屋台の担ぎ棒に割れが発生したため、取替を行った。そのほか、長年の経年劣化により高欄掛けの金糸のほつれ、昼提灯の金具が劣化したため、修理を実施した。修理後、10月7・8日の例大祭において一般公開を行った。 H30 長年の使用による経年劣化により、梵天金物・昼提灯金物・枳形天井に損傷が生じたため、修理を行う。修理後、10月6・7日の例大祭においてお披露目する。									
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数						(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		平田町屋台保存会を構成する平田地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 242 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 260 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
270 人		人		人		人		人		人	
156%											
事業⑨：		大手町屋台用具整備事業				実施団体：		大手町屋台保存会			
事業区分：		用具等整備				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		H29 高欄部の螺鈿細工は、昭和31年(1956)に吉川町細田神社より屋台を購入後、修理は行っておらず、劣化が著しいため、平成28年(2015)に復元修理した高欄部に従来の螺鈿細工を修理・移設した。修理後、10月14日にお披露目会を開催した。 H30 長年の使用による経年劣化により、担ぎ棒の飾り金具が損傷し、布団屋根の劣化が生じたため、修理を行う。修理後、10月19日の秋祭り前夜祭においてお披露目する。									
評価指標区分：		・祭礼行事への参加住民数						(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		大手町屋台保存会を構成する大手町の住民意識を高めて参加者数の上昇を目指す									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 50 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 100 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
95 人		人		人		人		人		人	
90%											

事業⑩：		久留美屋台用具整備事業			実施団体：		久留美屋台奉賛会				
事業区分：		用具等整備			事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：		H29 屋台の太鼓が、長年の使用により、太鼓張の革が破損したため、革の張替を行った。修理後、10月8・9日の例大祭において一般公開を行った。 H30 屋台台車が長年の使用による経年劣化により、損傷が激しいため、取り替える。修理後、10月7・8日の秋祭りにおいてお披露目する。									
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）				（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標：		久留美屋台奉賛会を構成する久留美地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 120 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 120 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
120 人		人		人		人		人		人	
100%											
事業⑪：		宿原屋台用具整備事業				実施団体：		宿原屋台保存会			
事業区分：		用具等整備				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		H29 屋台担ぎ本棒金具と布団屋根赤羅紗・天幕が、長年の経年劣化により損傷が激しいため、取替を行った。修理後、10月21日の祭礼において、修理完成お披露目会を開催した。 H30 屋台に付属する夜提灯が長年の経年劣化により、損傷が激しいため、新調する。修理後、10月20日の秋祭りにおいてお披露目する。									
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数						（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：		宿原屋台保存会を構成する宿原地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 50 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 70 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
50 人		人		人		人		人		人	
0%											
事業⑫：		御坂神社太鼓保存会屋台用具整備事業				実施団体：		御坂神社太鼓保存会			
事業区分：		用具等整備				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		H29 旧志染中屋台の布団屋根が、長年の経年劣化により、骨組み部分の木部の損傷が激しいため修理を行った。その他、赤羅紗の生地の変色・ほつれ・色やけ、飾り房の変色・ほつれが激しいため、取替を行った。修理後、平成30年3月4日に修理完成お披露目会を開催した。 H30 旧安福田屋台の欄干・泥台が長年の使用による経年劣化により、損傷が激しいため、修理を行う。修理後、氏子地域に回覧等で案内を出して報告するほか、完成お披露目会を開催する。									
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）						（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：		御坂神社太鼓保存会を構成する御坂神社氏子地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定									
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 36 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 36 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
36 人		人		人		人		人		人	
100%											

事業⑬：		東這田屋台用具整備事業			実施団体：		東這田奉賛会		
事業区分：		用具等整備			事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：		H29 経年劣化により大人屋台の骨格部を支える枅組に緩みやずれが多々みられるようになり、このまま放置すると屋台そのものの崩壊につながる可能性があるため、修理を行った。修理後、平成30年2月12日にお披露目会を開催した。 H30 子供屋台の長胴太鼓について、平成9年に皮を張り替えたが、長年の使用による経年劣化により、皮の損傷が激しいため、張り替える。修理後、修理完成お披露目会を開催する。							
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）				（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：		東這田奉賛会を構成する東這田地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定							
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 80 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 80 人							
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度		平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
人		人	人	人	人	人			
事業⑭：		興治屋台・獅子舞用具整備事業			実施団体：		興治獅子舞保存会		
事業区分：		用具等整備			事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：		H30 法被及び獅子舞の天狗衣装が長年の使用による経年劣化により、劣化が激しいため新調する。獅子舞の獅子幕及び屋台の昼提灯・水引幕についても。長年の使用による経年劣化により、損傷が激しいため修理を行う。修理後、10月13・14日に開催する秋祭りでお披露目する。							
評価指標区分：		・保存会会員数の変化（維持）				（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：		興治獅子舞保存会を構成する興治地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定							
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 246 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 246 人							
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度		平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
人		人	人	人	人	人			
事業⑮：		明石町青年団屋台用具整備事業			実施団体：		明石町青年団		
事業区分：		用具等整備			事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：		H29 明石町青年団の法被について、昭和46年以前から補修や買い足しを適時行ってきたが、長年の経年劣化により、色落ちやほつれ等の傷みが激しく、整理したことにより大幅に数量が不足していることから新調した。新調後、10月7・8日の例大祭において一般公開を行った。							
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数				（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：		明石町青年団を構成する明石町、宮前町、清水町、大日町、杣宮町の高校生から29歳までの会員対象者の意識を高めて会員数の上昇を目指す							
目標値：		【現状値】 平成 28 年度 31 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 35 人							
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度		平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
32 人		人	人	人	人	人			
25%									

事業⑯：	石野町祭り保存会屋台用具整備事業			実施団体：	石野町祭り保存会	
事業区分：	用具等整備			事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	H29 子供屋台は昭和40年(1965)に製作された大人屋台の屋根を使用し続けているが、赤羅紗、布団屋根及び天幕の劣化が激しく、破れや色褪せが生じているため、修理した。修理後、平成30年2月24日にお披露目会を開催した。					
評価指標区分：	・ 保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	石野町祭り保存会を構成する石野地区の住民意識を高めて会員数の上昇を目指す					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 103 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 125 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
103 人	人	人	人	人	人	
0%						